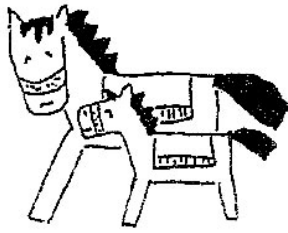


お馬のかあさん  
やさしいかあさん  
子馬をみながら  
ぽっくりぽっくり  
あるく

# おうまのおやこ

子育ても  
あせらず待ちましょ  
ポックリ、ポックリと



令和5年 4月 No. 341

〒760-0044 香川県高松市御坊町2-2  
高松第二保育園内地域子育て支援センター  
TEL:087-821-9347 FAX:087-851-0857  
<https://oumanooyako.com>



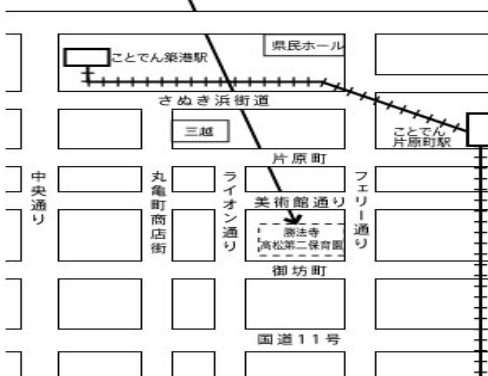
(厚生労働省・高松市委託事業)

～どなたでも～			4月の主な活動	～お気軽にどうぞ～
4月	7日 14日 28日	金	ヨーガを楽しむ会 14:30～16:00	冬より薄着になりましたので 充分に体を伸ばしてみましょ。
4月	20日	木	こうさぎおはなし会 15:00～16:00	毎月楽しみのおはなし会に どうぞおいで下さい。
4月	21日	金	香川みすゞさんの会 14:00～16:00	4月1日、仙崎での「第6回みすゞコスモス交流会」に 3人が参加しましたので、報告会をします。
4月	22日	土	おとなアート 14:00～16:00	これから1年のアート作品入れに 使用するエコバックを作ります。
4月	26日	水	自然の中の遊び体験 13:30～15:30	「葉っぱに絵をかこう」をテーマに色々な 葉にかいてみるとどうなるでしょうね。
4月	11日 25日	火	体験保育 15:00～17:00	外遊びの季節になりました。 みんな色々な道具で遊びましょ。

・火～土の9:00～18:00までは、園内開放して  
いますので、親子でご来園下さい。  
(但し、月・日曜・祭日は休み)

育児相談(月～土) 9:00～18:00  
しつけや子育てについての悩み、保育園生活  
入園・見学についての相談もどうぞ。

香川県高松市御坊町2-2  
地域子育て支援センター



金子みすゞ童謡全集①  
美しい町・上より

木  
お花が散って  
実が熟れて  
その実が落ちて  
葉が落ちて、  
それから芽が出て  
花が咲く。  
そうして何べん  
まわったら、  
この木は御用が  
すむかしら。



☆今月の内容 — ・ドアの取っ手で「ビリッ」  
・平賀源内遺品館へ

「だから電気はおもしろい」細川真由美 著より



# だから電気はおもしろい

細川 真由美

## ドアの取っ手で「ビリッ」(静電気の話)

冬になって、ひんぱんに静電気の攻撃を受けるようになりました。

出入り口のドアの取っ手に手をのばせば「ビリッ」、車のドアで「バシッ」と、あちこちでビリバシしっ放しの私です。

静電気の衝撃は、ほんの一瞬で終わりますが、あまり気持ちのいいものではありませんし、いつまでたっても慣れて平気になることはなさそうです。

ビリバシするたびに「うわっ」とさけびたくなるのですが、いい大人がひとり騒ぐのも恥ずかしいのでじっとがまんをしています。

静電気は、人間のちょっとした動作で発生します。着ている服がこすれて、静電気はだんだん体にたまっていきます。

そして、たまった静電気が、体の外へ流れ出る道を見つけて、出ていくときに「バチッ」と指先などに衝撃を与えることがあるのです。

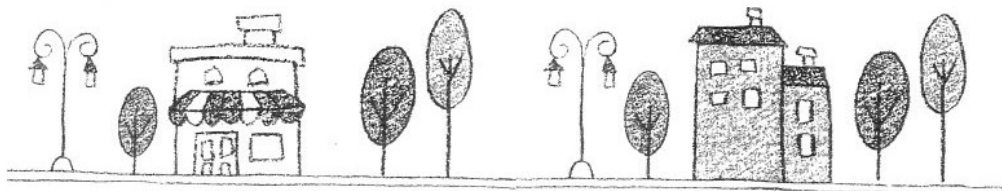
体を動かさずにじっとしていれば、静電気は少なくなるのですが、そういうわけにもいきません。

湿度が高ければ自然に放電して、人体にたまる静電気の量は少なくなり、湿度55%以上になると静電気は発生しないそうです。乾燥していると静電気がたまりやすくなります。

着ている服のせいで、男性より女性のほうが静電気を帯びやすいそうですが、それにしても私は他の人よりもビリバシしている気がします。私の冬の必須アイテム、ばばシャツのせいでしょうか。

重ね着した服の繊維が、同種のものだと静電気は起きにくいのですが、たとえばナイロンとアクリルとか異種の繊維がこすれ合うと静電気が起きやすくなります。

私が今日着ていたばばシャツを確認してみると、アクリル、レーヨン、ナイロン、ポリウレタンの混紡でした。これでは上に何を着てもビリバシしそうです。



他の人に触ったときにも「ビリッ」とくることがあります。

何気なくお互いの手が触れた瞬間、「バシッ」とけっこう強い衝撃がきて、お互いに「うわっ」とのけぞったこともありました。仲のいい友人なので、火花を散らす相手でもなかったのですが…。そばにいる人に無意識に、静電気で電撃パンチを与えてしまうことがあるのは困りものです。

セーターを脱ぐときのビリビリバチバチの集中攻撃は、約 3000～5000 ボルトという高い電圧になっています。でも電流はわずかなので、私たちは少し痛みを感じる程度です。ちなみに静電気の場合、3000 ボルトぐらいまでなら痛みを感じないとのこと。



ところで、静電気の大親分の雷は、数億ボルトとスケールがちがいます。

雷は、おおまかに言うと、空気中の水や氷の粒がこすれ合うことにより発生した静電気が雲にたまり、放電する現象です。

「雷って夏の話よね」と思っている四国育ちの私たちには意外ですが、日本海側は冬の雷のほうが多いそうです。

気象庁の資料によると、夏の雷と冬の雷は放電のようすがちがい、夏は激しい雷雨となり、数秒間隔で発雷して 2～3 時間継続することがありますが、冬は激しい雷になることはめったにないとのこと。

また、冬は対流活動が夏に比べて弱いので、一度放電すると次の放電まで時間がかかり、30 分以上の間隔になることもあり、「一発雷」とも言われます。そして、冬はエネルギーの大きな放電の割合が高く、落雷した場合には、夏より大きな被害をもたらす可能性が高いそうです。

大親分の雷を筆頭に、悪さばかりしている静電気ですが、ここで生活に役立っている静電気も紹介しておきましょう。

まずは私たちが大変な恩恵を受けているオフィスに欠かせないコピー機には、静電気が利用されています。1938 年にアメリカのカールソンという人によって発明されたそうです。

また、家庭で大活躍の食品用ラップは、ロールからはがすときに生じる静電気で容器とラップを密着させています。

そして静電集じん装置や静電塗装などにも静電気が利用されています。

今はまったく見通しがありませんが、雷のエネルギーが利用できたら、世界のエネルギー事情は大きく変わるでしょう。

世界中で毎秒 100 個の落雷があって、1 回の落雷で、家庭用の電力消費量にして 1 世帯あたりで 2 カ月分くらいのエネルギーになるそうです。



## 平賀源内先生遺品館へ

平賀源内先生遺品館へ行きました。

源内さんは、高松藩の軽輩御蔵番の子として1728年に讃岐志度浦に生まれています。その旧邸が遺品館になっています。

遺品館は小さな建物ですが、見ごたえのある展示品がありました。今現存している源内作のエレキテルの2つのうちの1つが、この遺品館にありました。

源内さんは、長崎でオランダ製の壊れたエレキテルを手に入れ、これを7年後に復元したとのこと。エレキテルとは、摩擦静電気の発生装置。オランダで発明され、見世物や医療器具(効果はあやしい?)として用いられていたそう。

木製の箱型の内部に蓄電器があり、外付けのハンドルを回すと内部でガラスが摩擦され、発生した電気が銅線へ伝わって放電するしくみ。

遺品館には、エレキテルと同じしくみの装置があって、案内してくださった方が「ハンドルを回してみてください」とおっしゃるので挑戦してみました。30回ほどハンドルを回すと火花が出たり、蛍光灯を瞬間的に光らせたりすることができます。小学生の理科の実験のようで童心に戻って楽しむことができました。

2000年に朝日新聞が行った「この1000年『日本の科学者』読者人気投票」では、1位は野口英世、2位は湯川秀樹、3位が平賀源内でした。

科学者での堂々3位に驚きますが、源内さんは、発明家・文芸家・陶芸家・画家・本草家・起業家・鉱山家といろんな顔をもっていました。

土用の丑の日に鰻を食べる風習は、夏になると暑いので鰻が売れなくて困っていた鰻屋が源内さんに相談をもちかけ、「本日、土用丑の日」と書いた張り紙をしたら大繁盛したことがきっかけだということです。

また、今、世間を騒がせているアスベストにも関係しているのです。源内さんはアスベストを秩父山中で発見し、火の中に入れると汚れだけが燃える「火浣布」と名づけて宣伝したとのこと。

広報誌「電気と保安」別冊『だから電気はおもしろい』より

細川真由美 (ほそかわまゆみ) 普通高校卒

昭和55年、四国電力入社。第二種電気工事士、第一種電気工事士、電験三種、エネルギー管理士(電気)等の資格取得。

平成16年、四国電気保安協会に出向。現在、本部営業部開発グループ課長。